

平成22年度 主な事業予定

テーマ 「結ぶ ～ 私とあなたとみんなとを～」

◆ 第19回「とちぎ教育の日」生涯学習フェスティバル

・平成22年10月23日(土)～11月23日(火)

◆ 「とちぎ教育の日」ポスター原画コンクール

・募集 平成22年5月14日(金)～7月28日(水)

・審査 平成22年7月30日(金)

第19回「とちぎ教育振興大会」

・日時 平成22年11月13日(土) 13:30～16:00

・会場 宇都宮市文化会館 ＊入場無料

第1部 式典

- ・式辞
- ・祝辞
- ・表彰

教育功績者

ポスター原画コンクール入賞者

意見入賞者

第2部 記念講演

演題 『心のバリアフリーを』

講師 新井 淑則 (あらい よしのり) 氏
埼玉県長瀬町立長瀬中学校教諭

生徒指導に燃えていた青年教師時代、網膜はく離のため右目を、そして数年後には両眼を失明し職を辞する。しかし、絶望の淵から、再び公立中学校の教壇に立とうという希望を見出し、努力を重ね夢を叶える。

現在『長瀬町立長瀬中学校』で、教員として明るく活動している。その人となり・生き方は、多くの人々に感銘と共感を呼んでいる。

☆実践活動紹介

『自然教室ネイチャーフレンド』

- ・自然教室、環境教育活動等を企画し実施している。
- ・事務局・宇都宮大学陣内研究所
- ・会員、約170名 (子どもから大人まで)



◆ 「とちぎ教育の日」は、毎年11月の第2土曜日です。

「とちぎ教育の日」事務局

住所 〒320-0066 宇都宮市駒生1丁目1-6 栃木県教育会館3F
電話 028-643-0138 FAX 028-627-4087
E-mail tochikyo@poplar.ocn.ne.jp

教育で拓くとちぎの明るい未来

広報「とちぎ教育の日」 No.16



平成22年度 テーマ 「結ぶ ～ 私とあなたとみんなとを～」

平成21年度ポスター原画コンクール 栃木県立宇都宮商業高校1年生 吉葉真衣さんの作品

テーマについて

私たちは、昨年度は『命～一人一人が輝こう～』をテーマに、一人一人が自分を見つめ、命の大切さを認識し、希望をもって輝いて生きることを目指して、自他の生命尊重の気運を高めることに努めました。

それを受けて今年度は、各方面から指摘されている人間関係の希薄化やコミュニケーション能力の不足等の問題も踏まえ、人々が心と心の結びつきを大切に、連携を深め、支えあい認め合う人間性豊かな社会づくりを目指していきたいと考えています。

平成21年度 主な実施事業

テーマ 「命 ～一人一人が輝こう～」

◆ 第18回「とちぎ教育の日」生涯学習フェスティバル

- ・平成21年10月24日(土)～11月23日(月)
- ・28団体40イベント、関連事業として17市町28イベントを実施



「カルフルとちぎ発表『祭』」
栃木県連合退職校長会



「作品展」
とちぎ教育ネットワーク

◆ 「とちぎ教育の日」ポスター原画コンクール

- ・募集 平成21年5月11日(月)～7月28日(火)
- ・審査 平成21年7月30日(木)
- ・応募 幼稚園38点、小学校6点、中学校104点、高校13点、成人22点 計183点
- ・入賞 最優秀賞1点、優秀賞4点、佳作11点、 学校賞『宇都宮市立陽東中学校』

◇ 大会宣言起草委員会

振興大会記念式典の部で提案する「大会宣言案」の作成に当たる。なお、宣言は第18回とちぎ教育振興大会で採択された。

○大会宣言

- 1 私たちは、自らの団体活動とおして、「とちぎ教育の日」の趣旨を県民に普及するとともに、生涯学習と社会活動に積極的に取り組み、教育の一層の振興と充実に努めます。
- 2 私たちは、命の重さ・尊さについて真剣に問い直し、自他の生命尊重の気運を高め、家庭・学校・地域社会が協力して、一人一人が輝いて生きることに実現に努めます。
- 3 私たちは、青少年に対してスポーツ・文化・ボランティア活動等を通して社会参加を促し、豊かな情操と連帯感、自己肯定感をはぐくみ、社会性や規範意識の涵養に努めます。
- 4 私たちは、常に教育の問題に関心を持ち、その解決に向けて積極的に努力し、活力ある社会づくりに努めます。

◆ 第18回 とちぎ教育振興大会

日時 平成21年11月14日(土) 12:15～16:00
会場 宇都宮市文化会館 参加者 2,000余名

『アトラクション』 どリーみんぐミュージカルショー

「こどもミュージカルどリーみんぐ」の皆さんによる華やかなミュージカルショーが会場を包む。



『記念式典』

- ・会長あいさつ
- ・来賓祝辞
文部科学省 副知事 県議会副議長
地元選出国會議員代表
- ・表彰
教育功績者
ポスター原画・意見コンクール入賞者
とちぎ県民カレッジ奨励証
- ・大会宣言

『団体からの提案』

栃木子どもの本連絡会長 小林 静子 氏

【提案事項】『子どもに読書のよろこびを』

読書は子どもに生きる喜びや楽しみを与え、知的好奇心を満足させ自分を成長させていく力の源です。

*家庭では～赤ちゃんの頃より【読書の時間】をつくり、読み聞かせをしましょう。

*学校では～学校図書館の蔵書の充実と、専任司書の配置を求めていきましょう。

*地域では～市民の心豊かな生活のために公立図書館を育てましょう。



『記念講演』

演題 『大人の再生・子どもの成長』

講師 柳田 邦男(やなぎだ くにお)氏

評論家 作家
本県鹿沼市出身 元NHK記者

【主な内容】

- ・3歳頃までは、心のへその緒は切れていない。子どもをあたたく包めば成長を促進する。
- ・一冊の本との出会いが、人生を決めることもある。よい本と出会う機会をつくるのが大切である。

